



井上 恵子

イノウエ ケイコ

高校への授業提案など活発な活動で注目を集めているサークル「岡山模擬国連」副代表・教育学部3年生の井上恵子さんを紹介します。

「大使になって討論。とても面白い」

模擬国連といっても、ご存じない方がほとんどだと思います。参加者一人一人が世界各国の大使になりきり（たとえば日本人であっても、アメリカの大使を担当します）、実際の国連会議の形式に則って、現在国連で取りあげられている気候変動や貿易などさまざまな問題について話

しあう会議を開催する活動です。会議では、演説や他国との交渉などを通じ、自分の担当する国の国益を追求しつつ、国際社会にとって有益かつ実効的な解決策を盛り込んだ決議案を採択することを目指します。国際的な視野の獲得、情報収集・取捨選択能力やプレゼンテーション能力の向上、広い交友関係の構築と大学生活の充実を目的としています。

最大のイベントは年4回の会議合宿ですが、ふだんはその合宿に向けて国際情勢の勉強会や会議で使われる英語の学習などを行っています。そのほかにも、他大学の模擬国連への参加や、全国大会への参加などさまざまな活動を行っています。

会議では、それぞれに思惑があつて、自分の思いどおりにはいかないところが面白いですね。交渉を通じて自国と他国との妥協点を探っていく過程がスリリングですし、交渉の結果、自国の国益を守れたら、とても達成感を感じます。こればかりは実際にやってみないとわからないですね。ほかのメンバーからは「とにかく議論が楽しい」や「現実の国際問題に対する見識が広まっていくのがよい」といった声があります。それから、「どこよりもアットホームなサークル」をスローガンに鍋パーティーや誕生日ティーマや誕生日会などいろいろなレクリエーションがさかんに行われて

いて、それもこのサークルの楽しいところですね。

「高校生にも国際問題に関心を持って欲しい」

昨年度、高校生に模擬国連活動を体験してもらう「ジュニア模擬国連」(ジュニモギ)という出張授業を高校に提案し、実施にまでもっていきましました。高校生の段階で国際問題に関心を持ってもらうための活動で、実際に高校に出向き、模擬国連を開催します。われわれが司会などすべてを担当し、会議の運営や議題を高校生用にアレンジすることで、自分たちの勉強にもなると考え、企画したものです。現在、岡山県下の私立高校3



校において実施済みです。たいへん好評で、ジュニモギを体験できなかった生徒にも体験してほしいというところで、再度実施のご依頼もいただいています。

「模擬国連の輪を広げたい」

サークルとしての目標は、全国大会で活躍できる人材の育成ですが、まずは、本学での知名度を上げて、全学部の学生、そして留学生が集まるサークルにして、さらには高校生や一般の方にも模擬国連の輪を広げたいですね。

私個人に関して言うと、社会科の教職免許を取得予定で、中学校の教員になるつもりなんです。だから、この模擬国連活動で得た国際問題に関する知識をきちんと生徒に伝えることで役立てていこうと考えています。



▲明誠学院高校での「ジュニモギ」の様子